

【木造耐震専門委員会報告】

オンライン併用による木造耐震改修 Q&A 集講習会実施報告

委員長 矢崎博一 委員 辻川 誠

(一社)東京都建築士事務所協会の木造耐震専門委員会では、木造耐震改修を実施する上で必要と考えられる事例を中心としたテキストを2014年に木造耐震改修Q&A集として発刊して以来、毎年木造耐震改修 Q&A 集講習会を実施しています。その後も新たな Q&A を追加工作成してまいりました。そして委員会ではこれらの追加の Q&A を加えた木造耐震改修 Q&A 集の第2版発行に向けて検討を重ねてきました。そして木造耐震改修 Q&A 集の第2版の完成に合わせて、これをテキストとした講習会の開催を令和2年3月に予定しておりました。しかしながら新型コロナウイルス蔓延により、講習会の実施が延期となりました。今年になってもコロナ禍が続いていることから、オンラインを使用した講習会を実施する方向で検討を重ねてきました。そして、ようやく令和3年3月20日にオンラインと会場とを併用した講習会を実施することができました。ここでは、その報告を行いたいと思います。

講習会は(一社)東京都建築士事務所協会の本部会議室とオンラインを活用した遠隔講習とを併用して実施しています。講習会参加者は会場16名、オンライン57名、合計73名となっています。また、会議室では新型コロナウイルス感染予防対策のため、定員を大幅に縮小しています。図1は会議室の様子です。

テキストとなる木造耐震改修 Q&A 集は、診断編、補強編、そして資料編で構成されています。診断編と補強編では、耐震診断指針を理解した人が実際に耐震改修実務に進んだ際に出くわす話題を中心に構成されています。資料編はこれまで木造耐震専門委員会で集計した耐震診断に関するデータを載せています。主に耐震改修における耐震補強量と耐震改修工事費との関係についてグラフを掲載しています。講習会は Q&A 集の内容についての講習が2時間30分とし、最後に木造耐震改修工事特記仕様書及び木造耐震改修工事標準図の紹介と使い方についての解説が行われました。図2は講習会での講習会用プレゼンテーション画像の一コマで、玉石やブロック基礎などを鉄筋コンクリート基礎に改修する補強についての解説部分です。このように Q&A 集は写真と図を多用して一問一答形式で構成されています。木造耐震改修 Q&A 集第2版では、改訂前の Q&A 集に新たな Q&A を17題追加して合計72題の Q&A を収録しています。今回は1981年6月から2000年5月までに建てられた木造軸組工法住宅の耐震診断の考え方や木造校舎の耐震診断についての話題も追加しました。委員会としては、今後も引き続き Q&A 集の内容の充実を図っていかねばと考えております。



図 1 会議室の様子



図 2 講習会用プレゼンテーション画像の例

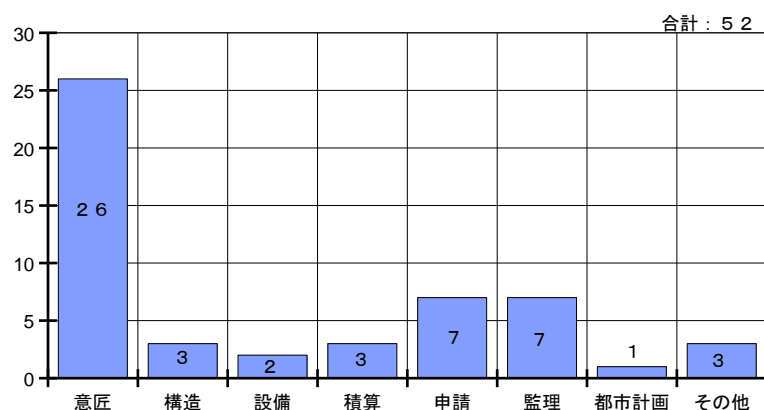


図 3 業務分野について

今回の講習会では、今後開催する講習会の内容改善の参考とするため、アンケートを実施しております。図 3 は講習会に参加いただいた方の業務分野です。ここでは、52 名の方から回答をいただいております。その内、26 名が意匠系の方となっており、意匠関係の人が大変多い結果となりました。また、グラフからは、さまざまな分野の方のご参加をいただいたことが分かります。

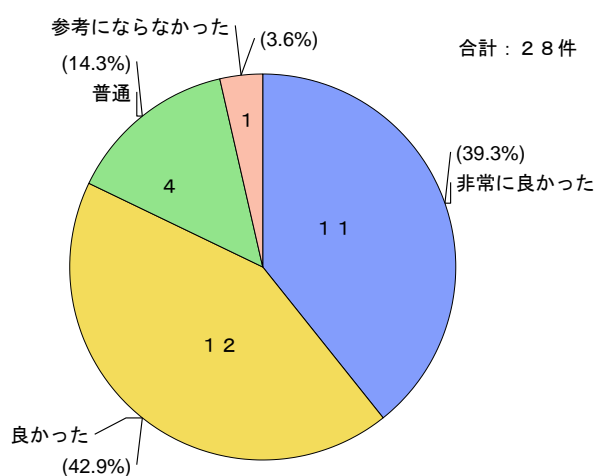


図 4 講習会の評価

図 4 は講習会についての評価です。今回のオンラインによる講習会は受講していただいた方より概ね良好な評価をいただけたものと思います。その他、受講者からの具体的なコメントとして「リアルとオンラインの講習は初めて経験した。コロナ併存時代の講義でこの方法が主流になるであろう」「コロナ禍でなくても web 講習も併用で行ってほしい」「会場まで出向かなくて良い」などがありました。これらはオンライン講習会に対して前向きなご意見であると考えています。今後の講習会開催に向けた参考とさせていただきたいと

思います。オンラインによる講習会はコロナ禍に限らず、講習会場へ足を運ぶことの困難な方の講習会への参加の機会が得られることや、気軽に講習会へ参加できるなどの効果も期待できると思います。

今回の講習会では、接続機器のトラブルが発生してしまいましたが、幸い講習会を完了することができました。今後は機器のトラブル等が生じないように入念なチェックを行い、改善を図っていきたいと思います。この講習会は、多くの会員の皆様にご参加いただいたお陰で無事実施することができました。この場をおかりして感謝申し上げます。引き続き、木造耐震専門委員会の活動へのご協力をよろしくお願いいたします。また、講習会の会場設営及びアンケートとりまとめには、事務局の神田晃伸さん、永田知世子さんに協力いただきました。大変お疲れ様でした。